

平成27年度 教育警察常任委員会管内視察の概要

■視察日時 平成28年1月26日（火） 午前9時～午後5時

■視察者 教育警察常任委員会（7名）
内野幸喜（委員長）、早田順一（副委員長）、小杉 直、
荒木章博、前田憲秀、末松直洋、高島和男

地元議員（2名）※阿蘇警察署のみ参加
河津修司、岩本浩治

■視察先 ①済々黌高等学校（熊本市中央区）
②阿蘇警察署（阿蘇市一の宮町）
③熊本工業高等学校（熊本市中央区）

■視察趣旨 ①済々黌高校は、「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」の指定を県内で唯一受けており、SGHの取り組みの概要の説明を受け、1年生の即興型英語ディベート講座の授業（2コマ）を見学。その後、指導にあたる先生方と意見交換を行い、本県のグローバル人材育成の取り組みの参考としました。

②阿蘇警察署は、平成24年7月の九州北部豪雨で被災したことから、現在、庁舎の建て替えが検討されており、当時の被災状況及び現庁舎の状況等を確認し、今後の委員会審査の参考としました。

③熊本工業高校は、今年度、実習棟改築の基本構想策定を行うなど実習棟改築事業が進行している。計画の概要及び現況について説明を受けるとともに、各科（9科）の先生方と現在の実習棟（13棟）について、現施設の課題や改築にあたって必要な設備等について意見交換を行い、今後の委員会審査の参考としました。

■視察の概要

①済々黌高等学校

SGHの取り組みは現在2年目。卒業までに英検2級取得者を8割とする数値目標があるが、これについては達成される見込み。

今後の課題として、熊本大学等地元大学との連携強化、SGコースの生徒の指導を通じ、教員の指導力を向上させ、SGコース以外の生徒のレベルアップをいかに図るか等が認識されました。



■即興型英語ディベート講座の授業見学

②阿蘇警察署

阿蘇警察署は今なお土砂災害警戒区域の直近に位置しており、大雨等があれば、今後も同様の被害が発生する可能性があることの説明を受けました。

委員からは、移転・建て替えにあたっては、将来を見越した計画を持って、必要な機能とスペースを確保すること、地元等への説明を丁寧に行うことなどの意見がでました。



■質疑・意見交換の様相

③熊本工業高等学校

実習棟改築の基本構想について、費用やスケジュール等の面から、現在、13棟ある実習棟を3階から4階建ての4棟にまとめる案を採用したとの説明を受けました。

また、各科の先生方からは、実習には多くの機器を使用することから、十分な作業スペースと保管スペースを確保することが必要等との多くの意見がでました。



■質疑・意見交換の様相